

ダイワSociety 5.0関連株ファンド（資産成長型） / （予想分配金提示型）

（愛称：スマートテクノロジー（資産成長型） / （予想分配金提示型））

設定来の運用状況と今後の見通し

2022年1月21日

平素は、「ダイワSociety5.0関連株ファンド（愛称：スマートテクノロジー）資産成長型／予想分配金提示型」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。おかげさまで、当ファンドの資産成長型におきましては、2022年1月19日で第3期決算を迎えることが出来ました。今後も、当ファンドでは成長性の高いテーマ型の株式ファンドへの投資を通して、投資家のみなさまの資産形成に貢献できるよう努めてまいりますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

本資料では、当ファンドの足元にかけての基準価額の変動要因についてご報告します。

当ファンドは、2020年7月20日の設定以来、2020年末にかけては新型コロナウイルスワクチンの実用化期待の高まりなどを受け堅調に推移しました。2021年の年初以降は、米国での追加経済対策成立を背景とした景気回復期待や、主要国でのワクチン接種の進展を受けグローバル株式市場は堅調な推移となりましたが、米国で長期金利の先高警戒感が意識されたことで高PER（株価収益率）のハイテク株を中心に下落したことなどから当ファンドは2月中旬から3月上旬にかけて軟調な展開となり、その後も上値の重い推移となりました。11月末から足元にかけては新型コロナ変異株「オミクロン株」の感染拡大懸念を受けてグローバル株式市場が大幅調整となったこと、米金利上昇を背景にグローバルで小型・グロース株が下落となったことから当ファンドも軟調な推移となりました。

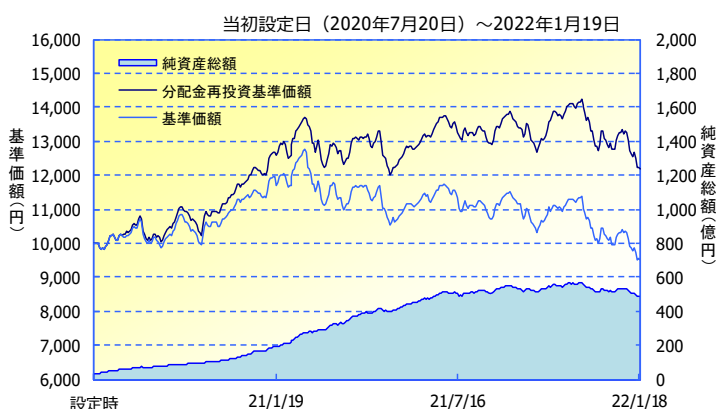
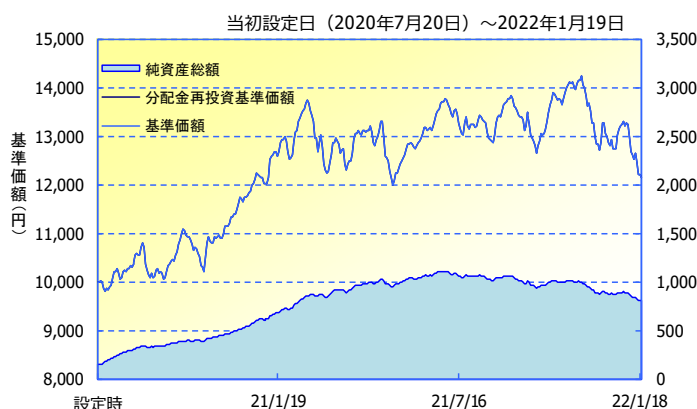
基準価額・純資産の推移（2022年1月19日現在）

資産成長型

基準価額	12,154 円
純資産総額	801億円

予想分配金提示型

基準価額	9,484 円
純資産総額	484億円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

■ グローバル株価指数に対するパフォーマンス

【局面①：当ファンド設定月末（2020年7月末）～2021年2月半ば】

当ファンドはグローバル株式市場を上回る上昇となりました。グローバル株式市場が堅調な推移となるなか、グローバルでのEV化の流れの加速期待や新型コロナウイルスワクチン開発の進展期待を背景に、当ファンドの投資対象ファンドであるEVやゲノムといったテーマ型ファンドが良好なパフォーマンスとなったことから、当ファンドはMSCI World（円換算）に比べ大きく上昇しました。

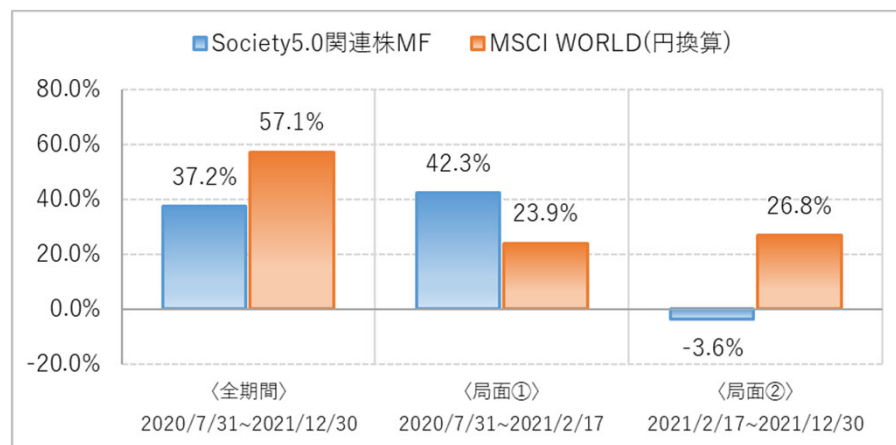
【局面②：2021年2月半ば～2021年末】

グローバル株式市場が堅調な一方、当ファンドは上値の重い推移となりました。2021年の年初以降、米国での追加経済対策成立を背景とした景気回復期待や主要国でのワクチン接種の進展を受けグローバル株式市場は堅調を維持しましたが、当ファンドは米国での長期金利上昇によりハイテク株を中心にバリュエーションの面で割高感が意識されたことから軟調となりました。5月半ば以降は、インフレ懸念の後退による投資家心理の改善を受けた、ハイテク株への買い戻しの動きを受けて当ファンドは再びMSCI World（円換算）を上回る上昇となりました。その後、グローバル株式市場は企業業績への期待感から引き続き上昇傾向となりましたが、当ファンドと関連性の高い小型・グロース株が出遅れたことなどから当ファンドはMSCI World（円換算）を下回るパフォーマンスとなりました。

（図1）当ファンドとグローバル株式市場の比較（2020年7月31日～2021年12月30日）



（図2）局面別の騰落率

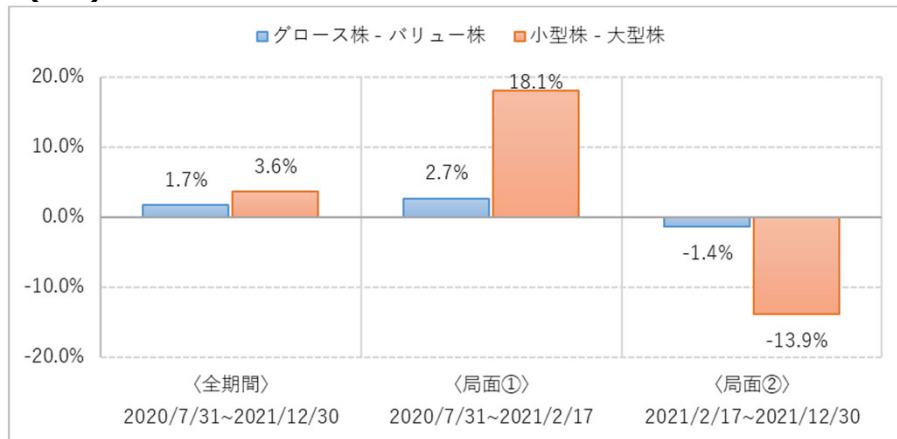


※ 当ファンドは、各組み入れファンドが参照する市場の動きをそろえて計算しております。
 ※ 当ファンドとMSCI World (円換算)は、当ファンドの設定月末（2020年7月末）を基準に指数化しております。
 ※ （出所）Bloomberg等のデータをもとに当社作成

当ファンドのパフォーマンスの要因について

これらの2つの局面での、株式市場におけるスタイル別の選好度合いを調べました。その結果、【局面①】ではグロース株への選好がやや強く、小型株への選好が強い市場環境でした。一方、【局面②】ではバリュー株への選好がやや強く、大型株への選好が強い市場環境でした。

(図3) 局面別の株式市場のスタイル別の騰落率



※ グロース株、バリュー株、小型株、大型株はそれぞれMSCI World Growth Index、Value Index、Small Cap Index、Large Cap Indexを表します。

※ 当ファンドの設定月末（2020年7月末）を基準に指数化して騰落率を計算しております。
（出所）Bloomberg等のデータをもとに当社作成

次に2つの局面別に、株式市場におけるスタイル別の選好について当ファンドのパフォーマンスへの影響を調べました。【局面②】は【局面①】に比べ「グロース株－バリュー株」や「小型株－大型株」の変動の影響が高くなりました。また、3つの要因による説明力も高まっており、シンプルなスタイルへの選好の高まりから、成長テーマの魅力度による銘柄の選好が弱くなっていると考えます。

一方今後につきましては、米国での景気回復や企業業績への期待感は根強く、またコロナ禍での経済活動再開の拡大期待により、再び企業の成長魅力度による銘柄選好が強まること、グローバル株式市場（大型・中型の影響が大きい）の上昇に加えて、出遅れた小型株が上昇することなどが当ファンドのパフォーマンスに追い風となる考えます。

(図4) 当ファンドに対する株式市場のスタイル別の影響度合い

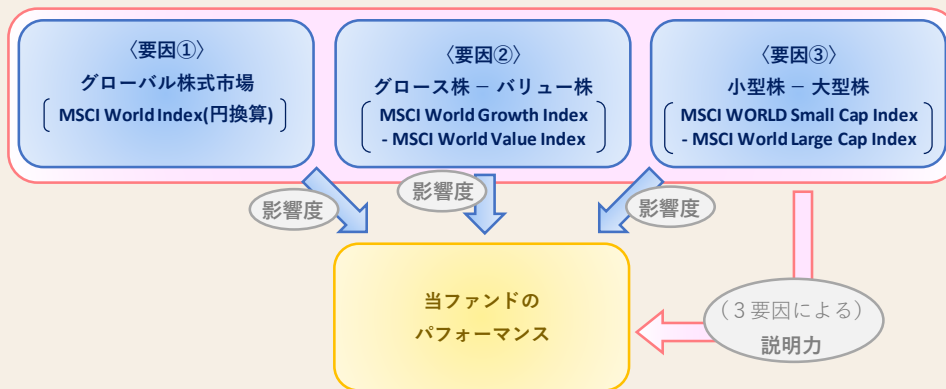
	影響度			説明力
	グローバル株式市場	グロース-バリュー	小型-大型	
〈全期間〉 2020/7/31~2021/12/30	0.84	0.91	0.85	0.78
〈局面①〉 2020/7/31~2021/2/17	0.85	0.79	0.66	0.71
〈局面②〉 2021/2/17~2021/12/30	0.81	0.97	0.88	0.82

※ 3つの要因による各影響度は一般的な水準でみて、統計的に意味のある（有意な）結果となっております。

※ 当ファンドは、各組み入れファンドが参照する市場の動きをそろえて計算しております。

（出所）Bloomberg等のデータをもとに当社作成

■ スタイル別の影響度合いのイメージ



- ・ 影響度と説明力はそれぞれ回帰分析の「回帰係数」と「決定係数」を表します。
- ・ 影響度は、値が大きいほど各要因の変動が当ファンドのパフォーマンスに与える影響が大きいと判断します。
- ・ 説明力は、0～1の範囲の値で、大きいほど各要因による当ファンドのパフォーマンスの説明精度が高いと判断できます。

Society5.0とは、日本政府が目指すべき未来社会として提唱した「超スマート社会」（経団連の説明によると、AIやIoT、ロボット、ビッグデータなどの革新技术をあらゆる産業や社会に取り入れることにより実現する新たな未来社会の姿）を指すものです。

さらに当ファンドでは、2021年1月に投資対象ファンドに遠隔医療、デジタルヘルスに関連したファンドを追加するなど、時流に合わせてファンドの組み換えも行っております。

投資対象とするそれぞれのテーマ型ファンドは成長魅力が高く、わが国で推進されるSociety5.0の実現の流れはグローバルでも共通のテーマと考えられることから今後の成長も期待できます。しかし、(図5)の騰落率のようにそれぞれのファンドの値動きの幅は大きく、投資タイミングを見極めるのは難しい側面があります。

当ファンドでは引き続き、成長魅力度の高いテーマ型ファンド投資と成長性を捉えた配分比率調整を組み合わせた運用が長期的には有効と考えております。

2020年8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
e&S [®] -マ [13.4%]	e&S [®] -マ [0.2%]	EV [5.6%]	EV [26.4%]	ケム [26.2%]	ケム [14.3%]	フ&D [®] -マ [12.3%]	MSCI WORLD [5.9%]	ケム/e&S [®] -マ [11.9%]	MSCI WORLD [2.4%]	ケム [16.7%]	ケム/e&S [®] -マ [3.2%]	ケム/e&S [®] -マ [5.9%]	遠隔医療 [-1.7%]	ケム/e&S [®] -マ [12.6%]	EV [3.9%]	e&S [®] -マ [5.4%]
ケム/e&S [®] -マ [11.7%]	ケム [-0.2%]	医療機器 [3.2%]	ケム [16.3%]	ケム/e&S [®] -マ [14.6%]	EV [12.2%]	ケム/e&S [®] -マ [8.2%]	ケム/e&S [®] -マ [4.4%]	ケム [11.3%]	ケム/e&S [®] -マ [1.1%]	ケム/e&S [®] -マ [9.1%]	医療機器 [2.4%]	医療機器 [5.2%]	ケム/e&S [®] -マ [-1.8%]	ケム/e&S [®] -マ [7.0%]	IoT [3.5%]	ケム/e&S [®] -マ [4.5%]
ケム/e&S [®] -マ [11.0%]	高齢社会 [-0.3%]	ケム [3.0%]	ケム [15.5%]	Society5.0 [8.5%]	e&S [®] -マ [9.5%]	IoT [7.0%]	e&S [®] -マ [2.5%]	医療機器 [10.4%]	ケム/e&S [®] -マ [-0.4%]	ケム/e&S [®] -マ [8.7%]	ケム/e&S [®] -マ [1.6%]	ケム/e&S [®] -マ [5.2%]	MSCI WORLD [-1.8%]	MSCI WORLD [6.6%]	ケム/e&S [®] -マ [2.7%]	IoT [4.5%]
AI/e&S [®] -マ [10.0%]	ケム/e&S [®] -マ [-1.3%]	ケム/e&S [®] -マ [2.7%]	e&S [®] -マ [12.6%]	ケム/e&S [®] -マ [7.8%]	e&S [®] -マ [8.7%]	ケム/e&S [®] -マ [5.9%]	AI/e&S [®] -マ [2.0%]	IoT [7.8%]	e&S [®] -マ [-0.4%]	医療機器 [8.4%]	IoT [1.5%]	IoT [4.9%]	医療機器 [-1.9%]	IoT [5.7%]	AI/e&S [®] -マ [2.2%]	MSCI WORLD [4.2%]
e&S [®] -マ [9.7%]	EV [-1.4%]	e&S [®] -マ [0.7%]	IoT [12.0%]	e&S [®] -マ [7.4%]	AI/e&S [®] -マ [5.1%]	ケム/e&S [®] -マ [5.1%]	医療機器 [-0.1%]	ケム/e&S [®] -マ [7.6%]	ケム/e&S [®] -マ [-1.3%]	ケム/e&S [®] -マ [7.8%]	MSCI WORLD [1.3%]	EV [4.6%]	ケム/e&S [®] -マ [-2.1%]	EV [5.5%]	e&S [®] -マ [1.1%]	ケム/e&S [®] -マ [3.1%]
ケム [9.2%]	e&S [®] -マ [-1.8%]	AI/e&S [®] -マ [0.6%]	MSCI WORLD [11.8%]	IoT [7.3%]	高齢社会 [3.6%]	医療機器 [4.6%]	ケム/e&S [®] -マ [-0.7%]	ケム/e&S [®] -マ [7.3%]	ケム/e&S [®] -マ [-1.6%]	IoT [7.0%]	ケム/e&S [®] -マ [0.1%]	ケム/e&S [®] -マ [3.9%]	ケム/e&S [®] -マ [-2.1%]	ケム/e&S [®] -マ [5.4%]	MSCI WORLD [-0.6%]	ケム/e&S [®] -マ [3.0%]
ケム/e&S [®] -マ [8.2%]	ケム/e&S [®] -マ [-2.1%]	IoT [0.6%]	ケム/e&S [®] -マ [11.2%]	ケム/e&S [®] -マ [7.1%]	ケム/e&S [®] -マ [7.1%]	ケム/e&S [®] -マ [4.2%]	ケム/e&S [®] -マ [-2.4%]	ケム/e&S [®] -マ [6.9%]	AI/e&S [®] -マ [-2.2%]	AI/e&S [®] -マ [7.0%]	AI/e&S [®] -マ [-0.8%]	AI/e&S [®] -マ [3.4%]	EV [-3.1%]	Society5.0 [5.1%]	ケム/e&S [®] -マ [-0.7%]	医療機器 [2.9%]
MSCI WORLD [7.5%]	Society5.0 [-2.1%]	ケム/e&S [®] -マ [0.5%]	ケム/e&S [®] -マ [10.5%]	ケム/e&S [®] -マ [5.6%]	医療機器 [3.3%]	MSCI WORLD [3.9%]	e&S [®] -マ [-2.5%]	Society5.0 [6.7%]	EV [-2.9%]	Society5.0 [6.7%]	ケム/e&S [®] -マ [-1.3%]	ケム/e&S [®] -マ [3.4%]	ケム/e&S [®] -マ [-3.1%]	医療機器 [4.7%]	ケム/e&S [®] -マ [-0.7%]	EV [0.9%]
Society5.0 [6.8%]	IoT [-2.2%]	Society5.0 [0.3%]	ケム/e&S [®] -マ [9.0%]	ケム/e&S [®] -マ [4.7%]	ケム/e&S [®] -マ [3.2%]	ケム/e&S [®] -マ [3.7%]	ケム/e&S [®] -マ [-2.7%]	ケム/e&S [®] -マ [6.4%]	ケム/e&S [®] -マ [-3.1%]	遠隔医療 [6.6%]	ケム/e&S [®] -マ [-2.0%]	ケム/e&S [®] -マ [2.9%]	AI/e&S [®] -マ [-3.2%]	ケム/e&S [®] -マ [4.7%]	ケム/e&S [®] -マ [-1.0%]	遠隔医療 [-0.1%]
ケム/e&S [®] -マ [6.0%]	医療機器 [-2.4%]	ケム/e&S [®] -マ [0.0%]	AI/e&S [®] -マ [8.9%]	ケム/e&S [®] -マ [4.2%]	Society5.0 [3.2%]	Society5.0 [3.5%]	遠隔医療 [-3.2%]	EV [5.3%]	ケム/e&S [®] -マ [-3.1%]	ケム/e&S [®] -マ [5.4%]	EV [-2.2%]	MSCI WORLD [2.4%]	ケム/e&S [®] -マ [-3.6%]	ケム/e&S [®] -マ [4.4%]	医療機器 [-2.1%]	AI/e&S [®] -マ [-0.2%]
EV [6.0%]	AI/e&S [®] -マ [-3.0%]	e&S [®] -マ [-0.1%]	Society5.0 [8.6%]	医療機器 [4.2%]	MSCI WORLD [1.8%]	ケム/e&S [®] -マ [3.0%]	ケム/e&S [®] -マ [-3.3%]	ケム/e&S [®] -マ [5.2%]	IoT [-3.2%]	ケム/e&S [®] -マ [4.3%]	Society5.0 [-3.2%]	ケム [2.4%]	ケム/e&S [®] -マ [-3.7%]	ケム/e&S [®] -マ [2.3%]	ケム/e&S [®] -マ [-2.3%]	Society5.0 [-0.4%]
ケム/e&S [®] -マ [5.5%]	ケ															

※ 各投資対象ファンドをテーマの略称で示しています。
 ※ 騰落率は当ファンドの基準価額に反映される日を用いて、円建てで計算しています。
 ※ 当ファンド（Society5.0）はマザーファンドベースです。
 （出所）Bloomberg等のデータをもとに当社作成

Global X による見通しのご紹介

足元のパフォーマンスが相対的に下位となったクラウドコンピューティングETF、ソーシャルメディアETF、eコマースETFについて、ETFの運用会社であるGlobal Xは2021年11月17日よりホームページに掲載したレポート「次のビッグテーマ：2021年11月」で今後の見通しを紹介しております。

《Global X -次のビッグテーマ：2021年11月-》

〈ソーシャルメディア〉メタバースの夜明け

フェイスブックは、メタバースに全面的に参入するとともに社名をMetaに変更し、メッセージ、ワッツアップ、Instagramを含むフェイスブックのすべての資産がその傘下に入ることを発表しました。フェイスブックは、コネクティビティのスペースを共有するバーチャルリアリティ（VR）のリーダであり、かつてのオキュラス（Oculus）ブランドのVRワールドを備えて、ユーザーに新たな体験をもたらすクリエイターや開発者のためのメタバース（仮想空間）のホストサイトとなることを目指しています。一方、マイクロソフトのバージョンでは、同社のオフィス製品群が搭載されます。マイクロソフト「Teams」は現在、アバターを用いたチャット機能と会議機能のテストを実施しており、2022年上半期にリリースされる見込みです¹。また、ティンダーの親会社であるマッチ・グループを筆頭に、デーティングもメタバースに向かっています。同社は、ユーザーがリアルタイムの音声やバーチャルな出会いを通じて交流できる「シングルトウン」という世界を構想しています²。

〈eコマース〉贈り物で溢れるホリデーシーズン

2021年のホリデーシーズンのEコマース売上高は14.4%増加し、年末までの全支出額の18.4%をオンライン取引が占めると予測されています³。米国の2021年のホリデーシーズンで最も成長が期待されているのはアパレルおよびアクセサリで、前年同期比（YOY）25.5%増が見込まれており、次いでコンピュータ・家電が同12.5%増、ヘルスケアおよびパーソナルケアが同12.1%増と予想されています⁴。この盛況を見越して、アマゾンには15万人の季節従業員を雇用する計画を発表しました。アマゾンはさらに、従業員応募者のモチベーションを高めるため3,000ドルのサインオン・ボーナスを提供しており、場所によっては時給を3ドル上げるとしています⁵。また、グローバル物流大手のUPSは、Eコマースの荷物量が持続的に増加している中小企業に焦点を当てる方向にシフトしています。なお同社は、サプライチェーンの問題にかかわらず、好業績を報告しています。

〈クラウドコンピューティング〉雲にも届く勢いのクラウド支出

デジタル経済が引き続き発展するのに伴い、2021年第3四半期のクラウド・インフラストラクチャ・サービスへの支出額が500億ドルと過去最高を記録しました⁶。2021年第2四半期と比べて24億ドル、2020年第3四半期と比べると130億ドル、支出が増加したことになります⁷。新型コロナウイルスのパンデミックの影響で、企業のデジタル化が59%進んだうえ⁸、企業はハイブリッド型や在宅勤務型を取り込む経済に適応し続けています。直近でクラウドへの大規模な投資を発表した国は、フランスです。フランスはこの分野へ21億ドルの投資を計画していますが、その内訳は、公的補助が770百万ドル、欧州連合への資金提供が513百万ドル、民間の共同出資が785百万ドルとなっています⁹。

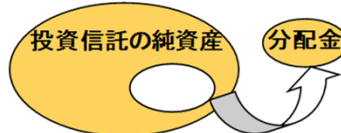
（出所）Global X ホームページ -次のビッグテーマ：2021年11月-（2021年11月17日）

1. ブルームバーグ、「Microsoft's Own Metaverse Is Coming, and It Will Have PowerPoint（マイクロソフト独自のメタバースが登場、しかもパワーポイント付き）」2021年11月2日。
2. マッチ・グループ、「Letter to Shareholders Q3 2021（株主への書簡 2021年第3四半期）」2021年11月2日。
- 3,4. eMarketer、「Holiday ecommerce sales will see double-digit growth, as shopping begins earlier in the season（ホリデーシーズンのEコマース売上は、ショッピング開始時期が早まることから2桁成長の見込み）」2021年10月22日。
5. CNBC、「Amazon plans to hire 150,000 seasonal staff for the holidays（アマゾンがホリデーシーズンに15万人の季節従業員を採用予定）」2021年10月18日。
- 6,7,8. ZDNet、「Cloud computing spending is at a record high. But the global chip shortage could create some problems ahead（クラウドコンピューティングへの支出は過去最高を記録。だが世界的なチップ不足が今後いくつかの問題を引き起こす可能性あり）」2021年11月3日。
9. KFGO、「France plans 1.8 billion euro support for cloud computing industry（フランスがクラウドコンピューティング産業に18億ユーロの支援を計画）」2021年11月2日。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

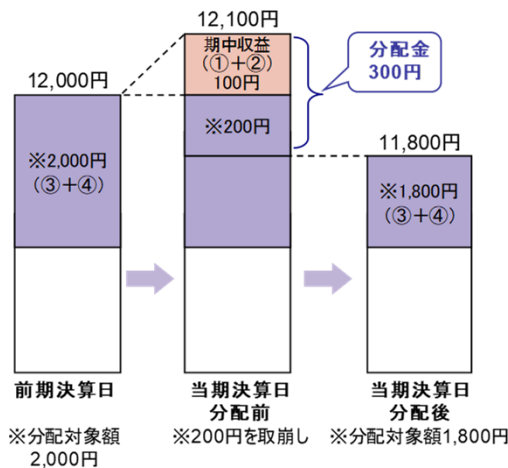
投資信託で分配金が支払われるイメージ



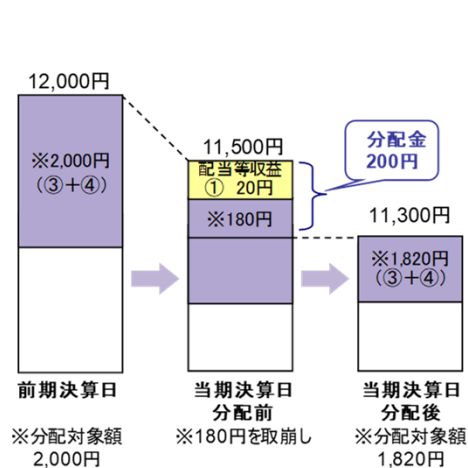
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



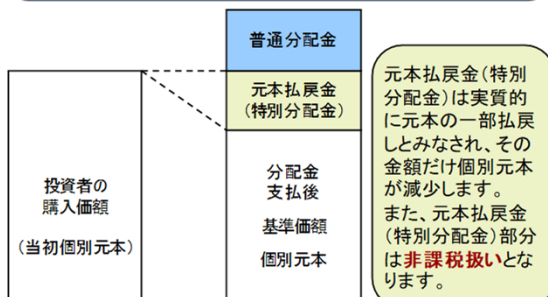
前期決算日から基準価額が下落した場合



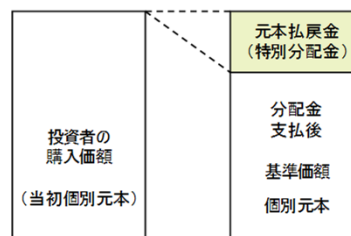
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

Ⅰ ファンドの目的・特色

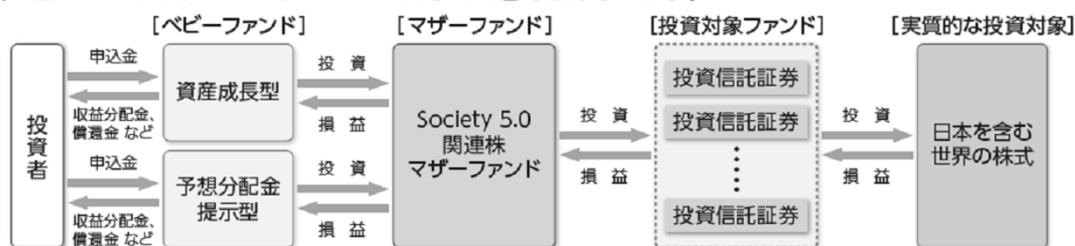
ファンドの目的

- 日本を含む世界の株式を投資対象とする複数の投資信託証券に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 「Society 5.0」をテーマに投資信託証券を選定し、日本を含む世界の株式に実質的に投資します。
 - ◆Society 5.0 とは、Society 1.0（狩猟社会）、Society 2.0（農耕社会）、Society 3.0（工業社会）、Society 4.0（情報社会）に続く、未来社会のモデルを意味する言葉です。科学技術の高度な発展を基盤として様々な困難や課題を解決し、利便性の高い社会を実現することが期待されています。
 - ◆Society 5.0 を4つのコンセプトに分け、それぞれの成長性を考慮して、各コンセプトへの投資配分を決定します。
 - 4つのコンセプト
 - ・支える技術（デジタル基盤技術等）
 - ・便利な暮らし（省力化等）
 - ・健康的な暮らし（医療等）
 - ・豊かな暮らし（消費・サービス等）

2. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。



3. 分配方針の異なる2つのコースがあります。

資産成長型

- 毎年1月19日および7月19日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

（注）第1計算期間は、2021年1月19日（休業日の場合翌営業日）までとします。

予想分配金提示型

- 毎月19日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

（注）第1計算期間は、2020年8月19日（休業日の場合翌営業日）までとします。

- 計算期末の前営業日の基準価額の水準に応じ、下記の金額の分配をめざします。
 - ※ 基準価額は1万口当たりとし、既払分配金を加算しません。
 - ※ 当該計算期末に向けて基準価額が急激に変動した場合等には、下記の分配を行なわないことがあります。

計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
10,000円以上 11,000円未満	100円
11,000円以上 12,000円未満	200円
12,000円以上 13,000円未満	300円
13,000円以上 14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※ 計算期末の前営業日の基準価額が10,000円未満の場合、原則として、分配を行ないません。

※ 基準価額に応じて、分配金額が変動します。基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。

※ 分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。

※ 販売会社によっては「資産成長型」または「予想分配金提示型」のどちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。くわしくは販売会社にお問い合わせ下さい。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

- ◆ 各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
 ダイワ Society 5.0 関連株ファンド（資産成長型）（愛称：スマートテクノロジー（資産成長型））
 ：資産成長型
 ダイワ Society 5.0 関連株ファンド（予想分配金提示型）（愛称：スマートテクノロジー（予想分配金提示型））
 ：予想分配金提示型
- ◆ 各ファンドの総称を「ダイワ Society 5.0 関連株ファンド（愛称：スマートテクノロジー）」とします。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.3%（税抜3.0%）	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 1.122%（税抜 1.02%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 （2021年7月末時点）	年率 1.67%（税抜 1.55%）～1.96%（税抜 1.78%）程度 ※マザーファンドの投資ユニバースに含まれる投資信託証券の運用管理費用を考慮した ものです。実際の組入状況等により変動します。	
その他の費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託証券は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社

加入協会

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号
 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

ダイワSociety 5.0関連株ファンド（資産成長型）
（愛称：スマートテクノロジー（資産成長型）） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社香川銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第7号	○			
株式会社高知銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第8号	○			
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号	○			
株式会社静岡中央銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第15号	○			
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○			
株式会社筑邦銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第5号	○			
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○			
株式会社長野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第63号	○			
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○		
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

ダイワSociety 5.0関連株ファンド（予想分配金提示型）
（愛称：スマートテクノロジー（予想分配金提示型）） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社香川銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第7号	○			
株式会社高知銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第8号	○			
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社静岡中央銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第15号	○			
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○			
株式会社筑邦銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第5号	○			
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○			
株式会社長野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第63号	○			
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○		
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。